

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	集団資源回収実施団体報償金交付事業	所管	環境クリーン部 廃棄物対策課
			TEL 2998-9146

事業の目的 (何の為に 行うか)	市民の日常生活から排出される廃棄物の中で、資源を回収する団体に対し報償金を交付することにより、資源再利用の促進とごみの減量が図られ、市民のごみ減量の意識向上に繋がる。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民で組織される営利を目的としない集団資源回収登録団体	対象とした数	539	団体
		実際に 利用した数	501	団体

活動の内容	(何を したか)	①集団資源回収事業実施団体(自治会・町内会、子ども会等)が資源物(新聞・雑誌・段ボール、古布、金属類、紙パック、生きびん)を回収し、集団資源回収事業取扱業者に引き渡す。 ②市は集団資源回収事業実施団体からの申請に対し、量に応じて報償金6.5円/kgを交付する。							
活動実績	項目名	市内の資源化紙類 総回収量	16,953	項目名	紙類の集団資源回 収量	12,159	項目名		単位
			t			t			単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	86,193	81,493	87,505	258.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	集団資源回収率	集団資源回収量/市内の資源化紙類総回 収量	80	72	90.0%
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了		終了 休止		
	予算	現状どおり	* 増額	減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了					
	総合 評価	* 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				終了
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	050400	TEL	2998-9146																																																																											
事業コード	集団資源回収実施団体報償金交付事業																																																																																
050407	環境クリーン部 廃棄物対策課																																																																																
開始年度		平成 3 年度	—	終了年度	平成 年度																																																																												
②事業の概要		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加 根拠法令		分野別計画・指針 一般廃棄物処理基本計画 関連・類似事業 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市集団資源回収事業報償金交付要綱																																																																													
総合計画の体系 政策 第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち 施策 4節 廃棄物・リサイクル 中柱 1ごみ減量とリサイクルの推進 小柱 (2)リサイクルの推進		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位 ・実施計画における位置づけ… H19 A H20 A																																																																															
行政改革大綱における行動計画への位置づけ コード 1111 市民の知りたい情報の提供		事業開始の背景 自治会、町内会、子ども会、PTA等の営利を目的としない団体が、自主活動として資源物を回収したことに対して、報償金を交付することで団体を支援し、ごみ減量と資源化の推進を図るために開始した。																																																																															
③事業の内容		目的(何のために行か、具体的に) 市民の日常生活から排出される廃棄物の中で、資源を回収する団体に対し報償金を交付することにより、資源再利用の促進とごみの減量が図られ、市民のごみ減量の意識向上に繋がる。 対象(誰を、何を対象としているのか) 利用数の考え方 市民で組織される営利を目的としない集団資源回収登録団体 資源回収に取り組んだ団体数 <table border="1"> <tr> <th>対象数</th> <th>単位</th> <th>平成 18 年度</th> <th>544</th> <th>団体</th> <th>利用数</th> <th>単位</th> <th>平成 18 年度</th> <th>503</th> <th>団体</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>平成 19 年度</th> <td>539</td> <td>団体</td> <td></td> <td></td> <th>平成 19 年度</th> <td>501</td> <td>団体</td> </tr> </table> 事業の具体的な内容及び実施方法 ①集団資源回収事業実施団体(自治会・町内会、子ども会等)が資源物(新聞・雑誌・段ボール、古布、金属類、紙/バック、生きびん)を回収し、集団資源回収事業取扱業者に引き渡す。 ②市は集団資源回収事業実施団体からの申請に対し、量に応じて報償金6.5円/kgを交付する。					対象数	単位	平成 18 年度	544	団体	利用数	単位	平成 18 年度	503	団体			平成 19 年度	539	団体			平成 19 年度	501	団体																																																							
対象数	単位	平成 18 年度	544	団体	利用数	単位	平成 18 年度	503	団体																																																																								
		平成 19 年度	539	団体			平成 19 年度	501	団体																																																																								
④前年評価と改善点		平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 >> 総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止) 予算 <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了 平成19年度中に改善した点 行政回収に代わる自治会・町内会等による集団資源回収を推進した結果、新たに1団体2,300世帯が事業に参加した。																																																																															
⑤経費		<table border="1"> <tr> <th>《会計種別》</th> <th>一般会計</th> <th>平成 18 年度 (千円)</th> <th>平成 19 年度 (千円)</th> <th>平成 20 年度 (千円)</th> </tr> <tr> <td>当初予算</td> <td></td> <td>85,111</td> <td>86,193</td> <td>91,372</td> </tr> <tr> <td>決算 (見込み含む)</td> <td></td> <td>81,369</td> <td>81,493</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(嘱託職員) (臨時職員)</td> <td>(人) (人) (人) (人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員人件費</td> <td></td> <td>0.65 人 5,980</td> <td>0.64 人 6,012</td> <td>※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。</td> </tr> <tr> <td>公債費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td></td> <td>87,349</td> <td>87,505</td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> <td>87,349</td> <td>87,505</td> <td>91,372</td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益者負担金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民一人当たり(単位:円)</td> <td></td> <td>258.5</td> <td>258.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用数一単位あたり(単位:円)</td> <td></td> <td>173,656.1</td> <td>174,661.0</td> <td></td> </tr> </table>					《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	当初予算		85,111	86,193	91,372	決算 (見込み含む)		81,369	81,493		(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)				正規職員人件費		0.65 人 5,980	0.64 人 6,012	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。	公債費					事業費合計		87,349	87,505		財源内訳					一般財源		87,349	87,505	91,372	国・県支出金					受益者負担金					市債					その他					市民一人当たり(単位:円)		258.5	258.1		利用数一単位あたり(単位:円)		173,656.1	174,661.0	
《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)																																																																													
当初予算		85,111	86,193	91,372																																																																													
決算 (見込み含む)		81,369	81,493																																																																														
(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)																																																																																
正規職員人件費		0.65 人 5,980	0.64 人 6,012	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。																																																																													
公債費																																																																																	
事業費合計		87,349	87,505																																																																														
財源内訳																																																																																	
一般財源		87,349	87,505	91,372																																																																													
国・県支出金																																																																																	
受益者負担金																																																																																	
市債																																																																																	
その他																																																																																	
市民一人当たり(単位:円)		258.5	258.1																																																																														
利用数一単位あたり(単位:円)		173,656.1	174,661.0																																																																														

⑥指	活動実績	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
		市内の資源化紙類総回収量	実績	t	16,849	16,953	16,844	
		紙類の集団資源回収量	実績	t	12,211	12,159	13,138	
成果分析	集団資源回収率	集団資源回収量/市内の資源化紙類総回収量	目標値	%	80	80	80	
			実績	%	72	72		実績値の拡大を図る1
			達成率	%	90.00%	90.00%		実績値の縮小を図る2 1

⑦一 次 評 価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	事業の対象を見直す必要性 実施主体 町内会・自治会等 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	類似・関連事業などとの整理・統合 受益と負担の関係 町内会・自治会等 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	受益と負担の関係 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	少子化に伴い子供会が減少していることなどもあり、平成16年度から始まった行政回収に代わる自治会・町内会等の地域主体による集団資源回収を、市・団体・事業者が一体となって安定的に推進していくことが必要である。				
今期目標項目(何を)	集団資源回収量の増加	達成水準(どこまで)	前年度の回収量より約730トンの増加を目指す。	時期(いつまで)	平成20年度末
平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
総合評価	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	集団資源回収事業は、紙類の資源化の柱として、今後も積極的に推進し、引き続き、行政回収に代わる自治会・町内会による集団資源回収を拡大していく。また、行政回収に代わる集団資源回収の拡大により、行政回収が減少し、経費の削減を図っていく。				
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	廃棄物対策課主幹 二上 清次		

⑧二 次 評 価	事前評価	事後評価	優先度評価
	部門優先順位… 位 見込まれる貢献度 市長マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価理由	リサイクル率の向上や行政回収からの移行による経費削減を効果とするとの説明があり、これらを成果目標として事業を「拡充」すべきと評価した。		
評価日	9月1日		

⑨個 別 計 画 に お け る 方 向 性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	322
	施策の体系	3-2資源循環の促進	施策の方向	3-2リユース・リサイクルの推進
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
基本目標				
主要課題				
施策の方向				